

《C社》

所在地:四日市市(県内本社・グループ会社の本社は県外) 業種:製造業
従業員数:約170人(男性約100人・女性約70人)(非正規従業員含む)

「トップ方針で両立支援を推進中」

親会社からの指示を受け、会社トップの方針で両立支援を推進中です。トップ方針は各職場の上長に浸透しており、労働組合とも連携し、積極的な取組を行っています。

【育児休業取得状況】

H17年度～H19年度:女性5人、男性1人

《育児休業者の声》生産ライン係長 育児休業期間:14日間

第1子の育児に加え、第2子の育児の必要があるため、自分も育児休業を取得しようと考えました。育児休業にあたり、仕事の引継ぎが円滑にできるように配慮し、休業中は会社と連絡がとれるようにしました。第1子の育児を親にも助けてもらいました。経済的には大変で、様々な問題をクリアしなければなりません。しかし、家族の共有時間が増え、とても良かったと思います。

《上司の声》品質保証課課長

部署としても初めての事例であり、業務に支障が出るのではとの懸念もありましたが、課員への理解を求め、その上で、課員が協力、分担することにより、仕事には大きな支障や混乱はなく、復職後もスムーズに仕事に戻ることができました。

《人事担当者の声》総務部課長

職場の上司から「何とかしてやれないか」と声があがり、会社としても「男性育児休業取得推進」の考えもあり、育児休業から職場復帰への流れをスムーズにつくることができました。

核家族化という現状の中で、男性の育児休業の需要はこれからも多くなると思われます。このケースを踏まえて今後も育児休業を取得しやすい職場作りに努めていきたいと思えます。

《育児休業者の声》倉庫職班長 育児休業期間:1年間 介護休業期間:93日間

育児休業を取得したきっかけは子どもの入院によるものです。復職後も昼間の介護のため、深夜勤務のできる部署に異動させていただきました。

《上司の声》三重営業所所長代理

育児休業を取得させるにあたり、欠員時の業務分担や代替要員を育児休業者や人事担当部署と相談し、調整しました。また、休業中は育児休業者の所属する部署の業務が円滑に遂行されているか、人事担当部署との連絡を密にとり、業務再配分を行うなど心がけました。

《人事担当者の声》総務部部长

社員から育児休業取得希望があり、当人は倉庫職班長という役職に就いていたため、他の社員が班長職を代行するなど、所属部署長との相談の機会を持ちました。休業中は各種給付金制度の手続きを行うなどのバックアップを行いました。また、復職にあたり本人からの相談を受け、本人の強い希望により、倉庫職班長から深夜勤務のできる部署への配置転換を行いました。